

議案 番号	78	資料 番号	1
農政課			

燕市農業振興協議会の設置について

1. 背景・目的

新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、今年5月に市内農業者に行ったアンケート調査で「影響が出ている」、「影響が出る可能性がある」と答えた方の割合が、前年同期調査時点より23%増加し61%となっております。農業者は農産物の売り上げの減少や米の市場在庫の増加により、今後、価格や販路に影響が出てくることなどに対して強い不安を感じています。

また、外食が大きく減少する一方、テイクアウトやデリバリー需要が増加するなど消費形態の多様化により、農産物の販路や流通に変化が見られます。

このような状況を踏まえ、燕市の農業生産者、販売者及び消費者の課題について、共通認識を持ち、打開策や事業化を見据えた検討を行い、戦略を立てることで「儲かる農業」、「攻める農業」及び「魅力ある農業」の実現を目指していくものです。

なお、10月には協議会を立ち上げ、年2回程度会議を開催する予定です。

2. 燕市農業振興協議会構成メンバー

次の組織・団体等から構成員(17人)を選出します。

区分	組織・団体等
生産者(4人)	農業経営体(個人・法人)、園芸農家、若手農家
消費者(3人)	市民、飲食店関係、保育園・学校給食関係
農業関係団体(2人)	農業協同組合、土地改良区
商・工業関係(1人)	商工業関係団体
市場・小売関係(3人)	市場、スーパー、直売所
福祉関係(1人)	社会福祉法人
学識経験者(1人)	大学教授
行政機関(2人)	三条地域振興局、燕市

3. 期待される効果

変化に応じた持続可能な農業経営体を育成し、創意工夫による多様な販路開拓を実現することで、市内農業者の農業所得の向上が期待されます。

4. 補正予算額 173,000円

燕市農業振興協議会謝金 170,000円

- ・学識経験者謝金 @15,000円×1名×2回 = 30,000円
- ・その他委員謝金 @5,000円×14名×2回 = 140,000円

燕市農業振興協議会費用弁償 3,000円

- ・学識経験者費用弁償(JR往復) @1,020円×1名×2回=2,040円